

<食文化学部現代食文化学科>（認定課程：中学校一種免（家庭）・高等学校一種免（家庭））

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> 建学の精神について理解し教養力の基盤をつくり、それに基づく豊かな人間性、社会性、コミュニケーション力、協働性などの総合的な人間力の向上に努める態度を身に付ける。 家庭科の教科に関する専門的知識・技術の基礎を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> 建学の精神について理解し教養力の基盤をつくり、それに基づく豊かな人間性、社会性、コミュニケーション力、協働性などの総合的な人間力の向上に努める態度を身に付ける。 教職の意義、教師の職務を理解するとともに、求められる教師像や目指す教師像を具体的に説明できる。子どもの発達と学習に関する理論を学び生徒の心理を理解する。 家庭科の教科に関する専門的知識・技術の基礎を身に付ける。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> 建学の精神の理解を深め、豊かな人間性、社会性、コミュニケーション力、協働性などの総合的な人間力の向上に努める。 教育に関する基本理念や歴史、学校教育制度や教育行政などについて理解し説明できる。学習指導要領を通して家庭科教育の目的・内容を理解し、教育方法と学習指導の基本を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> 建学の精神の理解を深め、総合的な人間力の向上に努め、子どもと親しみをもったコミュニケーションをとることができる。 家庭科の教科に関する専門的知識・技術を身につけるとともに、中学校の技術・家庭科の目標・指導内容について、小学校家庭科との連続性と系統性を理解し、具体的に指導計画を作成することができる。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> 建学の精神に基づく総合的な人間力に裏づけられた、社会人にふさわしい言動や態度をとることができる。 教職に対する自覚と責任について理解を深め、生徒指導など学校教育に関する専門的知識・技術を実践的に活用する。 家庭科における授業実践に関する知識・技術を身につけ、模擬授業を通して計画（P）・指導（D）・評価（C）・改善（A）を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> 建学の精神に基づく総合的な人間力に裏づけられた、社会人にふさわしい言動や態度をとることができる。 教職に対する自覚と責任について理解を深め、教育課程や教育相談など学校教育に関する専門的知識・技術を実践的に活用する。 家庭科教育に関する専門的知識・技術を深く理解し、実践的指導力に統合化する。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> 建学の精神を生活全般において体現し、教育実習などを通して、教職に対する自覚と責任、教育的愛情を身に付ける。 学校教育と教科専門に関する知識・技術を深め、実践的指導力を身に付ける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> 建学の精神を生活全般において体現し、教育実習などにおける学びを振り返り教師になる上での自己課題を自覚し、課題の克服に向けて努力できる。 教職に対する自覚と責任、教育的愛情をもって、専門職として学び続ける態度を身に付ける。